

	平成22年度 第6回 NPO法人介護支援専門員協会鹿児島 理事会
日時	平成23年4月18日(月) 17:30～
場所	介護相談センター 真砂本町
出席者	会 長：大勝洋祐 副 会 長：宇治野由美子、木場秀逸 理 事：新地一浩、大川内一浩、佐藤三奈、原田卓也、小湊珠子
欠席者	常務理事：阿久根平 理 事：吉永とも子 監 事：福永良弘
内 容	<p>1. 会長挨拶（大勝洋祐会長）</p> <p>全国大会が大成功に終わりホッとしていたところに、東日本大震災が起きました。被害をうけた方々に心よりお見舞い申し上げます。日本協会からもケアマネジャー・ボランティアの派遣を行い、義援金も募っています。今後どのようなことが我々にも起きるかわかりませんが、医療・介護の連携を図り対応していけるよう活動していきましょう。</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 鹿児島県認知症疾患医療連携協議会（3/14）報告 （代理報告：木場秀逸副会長）</p> <p>認知症疾患医療センターから実績報告があり、その後意見交換が行われた。現在、地域や各事業所・包括支援センターなどが研修会やネットワークづくりに努めている段階で、まだ充分でなく各専門職・地域を含めネットワークを強化して認知症はいかに介護されてゆけばよいのかななどを修得していく必要があるのではないかとの意見があがった。</p> <p>2) 第2回主任ケアマネフォローアップ研修会報告（報告 宇治野由美子副会長）</p> <p>日 時：平成23年3月26日(土) 13:30～16:30 場 所：かごしま県民交流センター 3階 中研修室2 研修内容：「今さら聞けない介護サービスのグレーゾーン」 参 加 者：71名</p> <p>今回は、グレーゾーンの中でもヘルパーについて研修を行った。ヘルパーも介護サービス提供者の一員として重要な役割を果たしているが、介護計画（ケアプラン）との整合性のあるサービス提供であることが当然ながら、自分たちの思いこみだけで、サービス計画を立てている状況もありうるので、ケアプランと一体化した行動がとれるような研修を行った。他のサービスでもグレーゾーンも同様な研修会を続けていく必要があると思われる。</p> <p>参加者も増えてきており、参加者の期待もさらに高まってきている。研修内容充実のためには委員の増員も検討が必要で、包括支援センターの主任介護支援専門員に声かけをして行く予定である。</p> <p>また今回、宮崎県介護支援専門員協議会よりフォローアップ研修会の視察にお見えになられた。</p>

3) 平成 22 年度 事業報告・会計報告について (事務局)

4月12日に木場副会長、阿久根常務理事、福永監事の立会いで、伝票・帳簿関係・領収書などの会計監査と業務監査を行い、誤りなく処理されている事を確認した。全国大会参加の支部会員への助成金費用として452,000円を支出した。助成金の原資は会員所属の事業所33事業所から協賛金として330,000円をいただいたものである。当期収支差額は-67,540円の少額の赤字に留まった。

3. 協議事項

1) 総会、講演会について (木場秀逸副会長 提案)

日 時：平成 23 年 5 月 28 日 (土) 14:00 ~ 17:00

場 所：鹿児島市民文化ホール 4階 市民ホール

・総会、講演会について

特別講演は「これからの終末期医療とケアマネジメント」と題し、演者は鷲見よしみ氏 (日本介護支援専門員協会常任理事) に、教育講演は、介護領域ではまだ馴染みの少ない領域の中から、新地一浩理事に「有料老人ホームにおける介護のあり方」について講演してもらう。

・中央法規出版 書籍展示販売依頼について

中央法規出版より、昨年度続いて本年も展示販売の申し出を了承する。

2) 平成 23 年度予算積算書(案)・事業計画(案)について (事務局 提案)

・予算案について

会員数は今年の見込みの500人について予算を組み、さらに他支部や非会員の研修参加者が昨年度も多かったため、今年度も養成研修事業収入として40,000円を計上した。

・事業計画案について

主任ケアマネ委員会、居宅委員会、施設委員会等の各委員会の研修会を年3回に増加した。

また、先日「鹿児島市ケアマネジメント研究会」(鹿児島市包括支援センター主催)が新しいケアプラン連絡票を作成し、当協会会員も主治医との情報交換の点で、よりよいケアプラン作成に繋がる内容と考えられるので、当協会も積極的にケアプラン連絡票の使い方や主治医との連携について早々に研修会を立ち上げていくことを決定した。

3) 役員改選について (事務局 提案)

ホームページにて役員の公募を行うこととする。

4) 第1回施設委員会主催研修会について (原田卓也理事 提案)

日 時：平成 23 年 6 月 17 日 (金) 14:00 ~ 17:00

場 所：かごしま県民交流センター 3階 中研修室2

研修内容：主としてグループホーム従事者を対象とする事例演習
 具体的事例に対する、ケアプランを作成していけるような演習を行う。課題分析がすべての出発点になるので原因追究をしっかりと把握出来るよう

な研修を考えている。特にグループホームの従事者対象で行うこととする。

5) 県介護支援専門員等指導者推薦について (佐藤三奈理事 提案)

昨年度と徳に変更せず、同じメンバーを推薦し認された。

・継続	宇治野由美子氏	後藤 裕基氏	日向 みさ子氏
	木場 秀逸氏	原田 卓也氏	堂脇 克信氏
	吉永 とも子氏	小湊 珠子氏	福元 美津子氏
	松田 祐亮氏	佐藤 三奈氏	羽生 光太郎氏
	新地 一浩氏	阿久根 平氏	

6) 平成 23 年度鹿児島市介護給付適正化事業に係る指導者の推薦について

(佐藤三奈理事 提案)

鹿児島市において、ケアプラン作成の技術的向上並びに介護保険の適正な運用のため、「ケアプラン適正化指導検討会」を開催しており、今年度も当協会より指導者の推薦依頼が来ている。

包括支援センターの会員にも依頼する。その他、下記のメンバーも継続する。

宇治野由美子氏	木場 秀逸氏	阿久根 平氏
新地 一浩氏	原田 卓也氏	松田 祐亮氏
吉永 とも子氏	小湊 珠子氏	佐藤 三奈氏

7) 「東日本大震災支援チャリティーイベント 特別講演会 in かごしま」

(カクイックス主催 6/9) への後援依頼について (木場秀逸副会長 提案)

カクイックスより、参加費すべてを震災義援金として寄付するイベントの後援依頼あり。後援、チラシの郵便物への同封・ホームページへの掲載等、協力することに決定。

8) その他

・各委員会委員の増員について

より強力な委員会活動のためにはマンパワーの強化も必要になるので、委員の中で増員を必要とする委員会については承認する方向性で承認された。具体的には各委員長に一任し、各委員会は委員増員・変更については、5月中旬までに事務局あて連絡することとする。

4. その他

1) 会員数・会費納入状況について (佐藤 三奈理事)

会員数 472名。今年度4月18日までに25名の新入会員があった(昨年度12名)。今後も継続して入会勧誘していくこととする。

2) 東日本大震災義援金について


日本協会より県協議会を通じて義援金協力依頼があり、各支部の総会時に義援金箱を設置して会員に協力を呼び掛けてほしいとの依頼があった。


3) 次回理事会日程
6月上旬開催予定。

以上をもって、協議が終了したので午後7時00分、閉会した。

以上、この議事録が正確であることを証する。

平成 23年 6月 2日

議長理事 大勝洋祐 

理事 末場秀逸 

理事 小湊珠子 